

刊夕 日一月三

常警每日新聞

定価 一月五拾五圓 郵費五圓
 廣告料 五圓以上 一行五拾圓
 日曜 祭日の翌日 休刊
 発行所 常警毎日新聞社
 印刷所 常警毎日新聞社



我に子等あり
 我に財あり

真織 雲山

【一】
 わが子もよるべでなし我財もたよりにならず、はては、我が身體、この健康さへたよるべきでないとしたら、「自分の心はどうであらうか。世の中のこと、一切の心の持ち次第、氣の持ち様といふ位だから、心さへあれば何か一番シツカリしたものを握られるに違ひないだから身體も裏切り財産も裏切りませうとも自分の心だけは大丈夫だ。人にも見えない、他人にも奪はれないのはわが心だ。身體の奥底に宿つて居るのだからこの心だけは自分に属してゐるだらう。この心の中に秘めた事は口に出さねば誰一人もかぎつけないわけには

【朝】味噌汁—豆腐
 小付 焼のり
 【晝】はせ佃煮 らつきよ
 【晩】魚の煮付
 味噌汁—三つ葉豆腐

ノート
 蝸牛の舌には一萬一千六百餘の小さな齒があつてこれ木や木の葉や木の芽をなめまはしてゐる
 ゆかないではないか。これだけは自分のものだ。斯う人は言ふかも知れない。しかし釋尊は静かに冷めたくも言ひきらされました。「こ

れも自分のものではない。肉體も精神も絶対に自分のものだといふものはない。よさうと思つてもよす譯に行かないぢやないか。これだよさう、思ふまい、やつてはいけないと思つても眼が喰べたくなるぢやないか。匂ひか飲みたくさせるぢやないか。骨と皮ばかりに痩せ衰へても、病氣になることを知りながらも、人間は

【文藝募集】
 本當に自分の心を譽めることは出来ないかも知れない。己れと云ふもの程取扱ひにくいものはない。自己には裏切られて行きます。自己といふものはかくして、おのが儘にならぬ。それでこそ自身の中に矛盾もあれば、叛逆、撞着もあり、反抗さへある。我は我と争ふといふ考へ方さへ出来るのであります。

自己の寄邊となるのです。「整へたる自己にこそ洵、得難き寄邊をぞ得ん」混亂してゐる思想、激してゐる感情といふものを静かに下度埃りが立つてゐるところへ水を撒くやうに自分の力で自分の本能を整頓することなんだ。だから結局、本當に自分の心をととのへてしまはないまじといふものは、自分の心でも自分を裏切つて行く事がある。人を叱ることは出来るが己れを叱ることは出来ない。人を譽める事は難しい。然し、

「整へたる自己にこそ洵、得難き寄邊をぞ得ん」混亂してゐる思想、激してゐる感情といふものを静かに下度埃りが立つてゐるところへ水を撒くやうに自分の力で自分の本能を整頓することなんだ。だから結局、本當に自分の心をととのへてしまはないまじといふものは、自分の心でも自分を裏切つて行く事がある。人を叱ることは出来るが己れを叱ることは出来ない。人を譽める事は難しい。然し、

是非！
 御融通には御用命下さい
 萬事便利な御相談に應じます
 三井質店
 平四・電六〇六番

花環
 蓮華
 造花
 町川新平橋
 屋本橋
 番三六一話電

外科
 門專 X
 科線光
 上田外科醫院
 平町南町
 電話一九二番

一冊の代金で
 御希望通りな
 五冊の雑誌が
 自由に讀める
 川崎 文庫
 電六三〇番
 (申込次第規則書進呈)

耳鼻咽喉科専門
 平田町(電話六九一)番
 山内醫院
 醫學士 山内亨吉

木炭代用
 月星豆炭 一八キ口壹袋
 金八十錢
 阿部石炭商店
 平驛前

玉屋洋品店
 平町田町通電話六五六番

お醤油は ヤマフル
 醤油味 贈
 たひら 正宗
 鯉節 食料品
 金山崎合名會社
 福島縣平町電話營業部製造工場
 明治生命塔代理店 山崎 與三郎

平町擧げて

日露役當時を追想

前夜の夜間演習に始り

十日は全町の士氣振ふ

日露戦捷三十週年——世界各國から東洋の弱小國を以つて見られて居た祖國日本が大國ロシアを

打倒して一躍嚇々たる偉名を走せてより既に星霜三十年、此間日進月歩、實に眼まぐるしきばかりに長足の進展を遂げ、今では押しも押されぬ世界

の一等國を以つて自他共に許し得る境地に王座を占めた、今に及んで滿洲の野に

屍山血河を築いた當時を追想すれば轉た感慨無量なものがある、時は正に非常時——平町に於ても此の時に際して三十週年の記念事業として奉天役の陸軍記念日を卜し既記の如く種々の催しを試み町民の自覺を涵起する事となつた

先づ前日の三月九日午後八時から同十時迄の夜間演習に始り市街戦、警備演習、燈火管制があつて十日午前九時から南町神谷川瀬田浦の排戦となり奉天城攻略戦や模擬飛行競技大會があり、それが約一時間を終つて同十一時からは市内の行進に移るが天城

の

入場式を模し一方非常時假裝競技大會を催す等の趣向にて正午忠魂碑前にて参拜を了し午後一時から聚樂館に於いて記念祭式典を左記順序に依り舉行
開式の辭 國歌合唱 勅語奉讀 式辭 祝辭 祝詞 遙拜 萬歳三唱

日立製作所から

熟練工を大量に

けふ募集の申込み

平職業紹介所に来る

軍需品景氣の王座を占める茨城縣助川町の日立製作所より本日平職業紹介所に九十五名と云ふ熟練職工の大量募集申込みがあつた、募集條件は技術修得後四五年経験を有する旋盤工二十名、製罐工十名、仕上工三十名、鍛冶工十名、平削盤工十五名、ボール盤工十名で年齢は四十五以下日給一圓五十錢前後、尙希望者は本月十五日迄に履歴書に町村長の所見書を添へて平職業紹介所に申込み度いと

経済部長

けふ視察

明日は植田へ

昨報郡下初巡視の桑原經濟部長は本日午後一時より四倉築港事務所を始め磐城セメント、農事試験分場、平土木監督所、夏井川改修事務所、平蠶業取締友所、片倉製糸工場の順に視察し住吉屋本店に一泊、明日は植田方面の工事箇所を視察する豫定であると

昭和人絹の排水路工事

縣から許可

錦村の昭和人絹會社は豫てより工費一萬六千五百四十圓で工場より姪田川に放流する排水路暗渠及び同河川の護岸工事を縣に申請中であつたが此程許可され近く同村宇落合地内に起工すると

愛川會を組織

毎月一回宛川底を浚ふ

玉川村藤原川及び矢田川の改修工事は殆んど完成に近く兩川共に大堤防を築き沿岸居住者の洪水禍を救ふ事になつたが今関係部落民は協議の結果愛川會を組織し毎月一回一戸より二人宛

磐中の上級學校

入學合格者氏名

福島師範學校二部の入學試験合格者は昨日發表されたが磐中關係は卒業生赤津眞志賀功、高木壽一郎、在校生江尻静男、國分董、新妻健次郎、熊谷久、鈴木勲の八名である尙同校に於ける現在迄の各上級學校合格者は左の如くであると(○印卒業生)
▲東京高師 ○鈴木治
川角三郎、渡邊仁作 ▲陸軍士官學校豫科 ○高田孝 ▲福島高商加古信次郎 ▲福師專攻 ○小松順一

鹿島消防異動

鹿島村消防組々頭代理箱崎清氏は此程病死したので小頭赤塚實氏が後任に任命され小野久技氏が小頭に新任した

玉川村の豫算

玉川村は昨廿八日午前九時より本年度豫算村會を招集し本一日正午迄繼續開會歳出入二萬六千三十三圓を附議決定した

市原醫院

男明男
△二丁目一五 白土茂平氏
長男茂雄
△四丁目三 三井三郎氏三男幹二郎
平・田町
電話一四四番

かまぼこ製造

杉詰屋

平町一丁目
お惣菜用 さつま揚 吉原揚
電話一四一番

不孫寛

電話一四一番

生徒募集

一、卒業年限 兩科通ジテ一ケ年
一、入學資格 高等小學卒業又ハ同等ノ學力アル者へ無試験入學ヲ許ス
一、申込期日 四月八日迄
平町播磨小路(元一丁目)

石城産婆學校

校長 鹿崎千代
電話三五七番



印刷の御用は設備完全の「常磐日」へ電話六三〇

他人の名刺で

大膽な詐欺

怪紳士が平町に出没

昨廿八日午後二時頃平町四丁目丸友書店に三十七七才位紳士風の男が「四丁目警城工業商會主中村佐治助」の名刺を示し後刻金を届けさせると稱し英和辭典二冊(五圓)の品を持去つたが後で同商會に問合せた主人は左様なものを買ひに行つた事實がないとの事に始めて詐欺にかつた事が判り平署に届出たが間もなく三丁目芹澤自動車店にも二丁目日東商會の者と稱し湯本町迄貸切自動車を頼み品川練瓦工場前降りるや「明日茨城縣迄集金に行くからと朝早く是の工場に来て呉れ料金は其時支拂ふ」と稱したので運轉手は歸途日東商會に照會した處湯本に行

出征五氏に

從軍記章

昭和六年より九年に亘る日支事變に歩兵二十九聯隊より從軍した平町の左記五氏に對し今回從軍記章を送附し來たので來る四日正午より町會議事堂に傳達式を舉行すると
中町小泉弘 堤ノ内深谷 四三郎 長橋町菅野淺雄 田町大島熊一 梅香町猪狩數三

自轉車少年の

後部を襲ふ

追ひ駆けて衝突

轉倒の際頭部を強打重傷

四倉町仲町合同貨物輸送會社自動車運轉手政井賢松(三)は昨廿八日午後零時半頃トラックを運轉して好間村大字下好間字沼田地内縣道を疾走中前方を自轉車で走る同村字酒井一三四木田勝之(三)の後部に衝突した

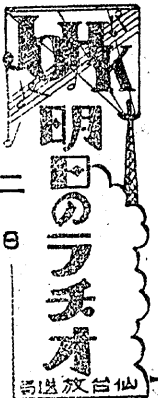
梅は令正に見頃



新入學取扱

當日の注意

平町の各小學校に於ける新



報 今晩も明日も北
西の曇後天氣良
なる

今晩の部

- 後六〇〇(子供の時間)
- 滿洲帝國祝賀交遊放送
- 後六二五 基礎英語講座
- (一六) 岡倉由三郎
- 後八〇〇 琵琶

置かれたしと

- 第一校の考査 平第一小學校は來る十一日から三日間算術、讀方、雜問の順に全校兒童の學期末考査を行ふ由
- 第一校の遠足會 平第一小學校は來る十六日全學年の遠足運動會を催すと

逃げたトリさん

吾が兒の許に

平職業紹介所が血眼で 尋ねあげてヤツト判る

主人の厚意で東京見物中無断逃走した神谷村生れ鈴木トリ(三)さんの行衛に就いて平職業紹介所では捜索中の處母親ヨシノさんが生活に窮しトリさんの一子英雄(三)を連れ双葉郡久之濱町字後見松根本金次郎方へ後妻に入つた處へ訪ねて行き朝夕吾が子の面倒を見て居た事が判つたので近く呼出して再び鎌倉町の吳氏方に住込ませる手筈であると

裁判所たより

- △好間村大字愛谷字花輪四四大工小野與市郎(三)は去る二月十三日午前十時五十分頃湯本間の鐵道線路を通行折柄差蒐つた列車を三十分間停車せしめ鐵道營業法違反として科料五圓
- △江名町大字永崎字川細二三六雜貨商遠藤貞彦(三)は去る一月二十八日頃店舗で錘糸の切れた秤秤を勝手に

明日の部

- 後九三〇 時報
- 氣象通報 番組豫告
- 前七〇一 基礎ドイツ語
- 前七三〇 朝の修養
- 前一〇三〇 母の購座
- 「動物に見る親子の情」 福田 三郎
- 後〇〇五 説教節 若松若太夫
- 後二〇〇 婦人講座

平職業紹介所報告

- △豐間村大字豊間字鹽谷町一二鮮魚商遠藤幸一郎(三)好間村大字中好間字上河原一料理屋佐藤一男(三)平町一丁目三三果物卸商井戸川安信(三)好間村大字北好間字椎木平一炭礦坑夫吉江留吉(三)の四名は賭博罪に依り各罰金二十圓宛に今日各平區裁判所に於て略式命令を付て處分された

長唄御稽古案内

三味線お唄共に晝夜御隨意 出稽古も致します

平町一丁目南川岸 (渡邊銃砲店裏)

長唄師匠 杵屋六美

貸切の御用命は

ぜひ三井自動車部へ!!!

電話六八五番

◎乗合は好間、合戸、澤渡方面行



明治太平記

(上巻及上巻)

(作) 寺島証史
(畫) 野口 溼

第六十五回

入種問答(五)

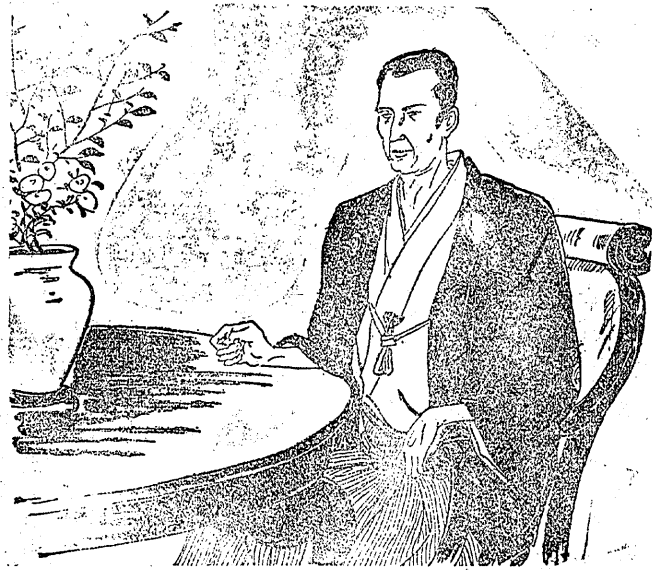
「そればかりでなく、我日本は山國であり湖の國であり、したがって急流の國であるからこれを應用して水力電氣を起すに日本は世界第一等恵まれた國だ。水力電氣事業は、將來の國運發展の原動力となるものですよ」

「へえ、水力電氣?……」
さすがの茂平次も科學の智識にいたつては、ほとんど白紙だった。

「水力電氣といふのは、電氣、つまり空中に起る電雷ですな、あの恐ろしい自然現象を人間が科學の力で自在に起すことを紅毛人は發明したが、その電氣を火力ではなく、湖や急流を利用して水の力で起さうといふのです、これは將來、われわれが國家的企業として大いに發達させなければならぬです。さうでないといふ日本の水力電氣企業に紅毛人が手を染めることは必定ユダヤ系やアングロサクソン系の財閥が日本の水力電氣事業にもとでを下してみなされ、日本はやがて國を賣ら

ねばならんことになる」
「ほう、そいつア事だ。いや、それよりか、あんたは偉い。いろ／＼な世界の出來事を知つてなさる」
茂平次はいふと嘉右衛門は、ほがらかに笑つてみせ

「水力電氣事業ね……」
茂平次は、まだ充分呑込めない。だが外國の資本がどしどし入つてきて日本のもつてを喰ひ盡されてしまつては堪らぬとおもつた。
「それから、日本は火山の國であり、温泉の國であるといふことがどれだけ日本民族の天性を育て養つたかれない。同時に日本が雨の多い國だといふことが有難いのです」
「雨?雨がおほいのは有難迷惑ぢやござせんか」



た。
「なアに、みんなさし、かぢりですよ。れいの東京横濱間鐵道敷設の爲英國から來てをるエドモント・モレルといふ技師長からさいいたのだが、しかし外國資本に神州が喰はれてしまふといふのはわしの意見です」

「いや、雨が多いので豊葦原瑞穂國ともなり雨が朝日かぢやく國だから、物みな繁殖する。つまり人口増殖國ともいふてよい」
「おや、人間が殖えるのが有難いことの一つに數へられますか」
茂平次は不服さうに口を

尖らした。
「むろんですよ」
嘉右衛門はさらに彼一流の獨斷と直感から人口増殖論を述べようとす。
「ちかごろ、日本の人口が急速に殖えてをるといふので、随分日本の儲みの種ぢやと嘆いてをるものがあるがこれについて、所さんあんたはどうおもひなさるか」
と茂平次に訊ねた。
「もちろん、土地の狭い日本に人間がうよ／＼殖えるばかりぢや堪まらんとおもひますがね。つまり人間が多過ぎてはいまに日本人が飢えてしまひますア」
「さうです。誰しも一應はさういふ意見になる……」

米國製癩皮膚病良藥
レメドール
子宮あたゝめぐすり
宮 温 湯
丹波博士創製セキドメ
たんばあめ
靈藥ムテキ

平町古鍛冶町〇一
阿康藥舖
縣社ノ下 電話四四番

耳鼻咽喉科専門
鈴木醫院
醫學士 鈴木 正男
平町田町(電話五八番)
藤田女學校前
自院のお需めに應ず
入炊の便あり

毎度有難うございます
エビフライ
ピフテキ
洋食
喫茶
會 宴
コンパル
平前 道通り
666・ELT
●女給名募集數●

藤沼醫院
平町・紺屋町
電話五〇七番

外科 專門
花柳病科 專門
木村外科醫院
電話三〇九番
平町六丁目橋際
自炊入院の便あり

株式賣買債權取立
合資 三 共 商 事
大町 電話三六〇番

10日 検査新
機 設 お宅の體溫計は?
◎確な體溫計を御使用下さい
◎毎月十日の検査日御利用下さい
度量衡 指定販賣人 西村屋藥局
計量器 平・二 電三番

第三十回生徒募集
非常時の女性に促す
産婆看護婦を御選み下さい
産婆看護の最もよいと定評のある
平南町 産婆看護婦學校へ
△申込み成るべく早く
△新學期の開始は四月八日より
平産婆看護婦學校
校長 清野キヨ子
(電話三〇七番)